



東京江東ロータリークラブ

2020~2021年度 テーマ

Vol. **59**

Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く
RI会長 ホルガー・クナーク 地区ガバナー 野生司義光

この街を愛することからはじめよう
~ One Step Ahead ~
クラブ会長 平手 克治

No. **3**

今日の卓話

次回例会案内

各委員長方針説明
(S.A.A.委員会)

イニシエーションスピーチ
堀 敬太会員

シニアスピーチ
伊藤 三千男会員

第2797例会
2020年7月21日号

E-mail:koto.rc@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

6/23 訂正出席率 84.21%
7/14 会員数19名中15名
出席率 83.33%



会長・幹事報告

- ・7/10 第1組家庭集会を板倉リーダー、小嶋カウンセラーの下「卯月」にて開催いたしました。
- ・7/17 歴代分区代理・ガバナー補佐会、ガバナー補佐選考委員会に鈴木委員が出席します。
- ・配布物：ロータリーの友 7月号、江東ロータリーのコロナ感染拡大時の対応

<委員会報告>

- ・鈴木地区委員より：地区状況報告

ニコニコボックス

- ・山田会長(城東RC)：ご挨拶に参りました。
- ・秋元前会長(城東RC)：昨年度はお世話になりました。今年も引き続きよろしくお願ひいたします!!
- ・杉田幹事(城東RC)：1年間幹事を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
- ・今井前幹事(城東RC)：本日はよろしくお願ひいたします。
- ・平手会長：山田会長ご一行をお迎えして、城東RCの皆様、今年一年間、よろしくお願ひいたします。
- ・大島幹事：城東ロータリークラブの皆様、ようこそお越しくださいまして、ありがとうございます。

・ご出席の皆様

| | |
|----|----------|
| 合計 | 64,000円 |
| 累計 | 120,000円 |

2020.07.14 江東ロータリーのコロナ感染拡大時の対応

2020~21年度会長 平手 克治

- 1) 例会の開催について
政府による緊急事態宣言、東京都による東京アラートにより警戒区域(該当区域に江東区が指定)に指定された場合、解除まで例会の開催は、見送る。
本年度は、出席希望の意志のあるものは、すべて出席の有無にかかわらず出席とする。
(従って、本年度は、メーキャップは不要となります。)
- 2) 理事会の開催について
理事会の開催は、例会の開催基準に準じる。
- 3) 例会・理事会開催時の対応について
例会場・理事会会場において換気の十分な一人当たりの気積の大きな会場を使用する。
検温の実施、手の消毒を入場時に行う。ロータリーソングについては、清聴のみとする。
会食時以外は、マスク着用。例会のニコニコについては、現金の受け渡しは、極力避ける。
会食時は、パーティションによりソーシャルディスタンスを十分取る。
体調が、万全でない会員(または、コロナウイルスに感染している可能性のある会員)は、欠席する。
- 4) 家族会・クリスマス会の開催について
開催の是非については、会長・家族会担当リーダー・親睦活動委員長に一任する。
- 5) 週報の発行
例会の開催にかかわらず、年間スケジュールに従い発行し、会員のコミュニケーションツールとする。
- 6) 社会活動について
例会・理事会休会中の社会活動については、会長・幹事に一任し、例会・理事会への事後報告とする。
- 7) 事務局の対応
例会・理事会が、休止中の事務局の業務は、テレワーク中心とする。その詳細は、会長・幹事に一任する。

第一組 家庭集会

7月10日18:00より平手会長、大島幹事年度、第1回家庭集会を開催いたしました。
カウンセラーの伊藤さんの気配りもあり、初参加となる堀会員、事務局小林さんとも、家庭集会ならではの雰囲気を感じていただけただけではないかと思ひます。
小嶋会員の取り計らいにより会場となった門前仲町「卯月」には、ソーシャルディスタンスの取れた配置の席に、透明アクリル板の区切りまでご用意されており、安心感のあるなか親睦を深めることができました。
時間の取れた有志にて移動した二次会会場は、懐かしのソウルミュージックが流れる「クレイジームーン」。
平手会長推薦の新入会希望者の関口さんも飛び入り参加いただき、会員増強にもつながりそうな有意義な集会となりました。
(板倉記)



五大奉仕委員長就任挨拶

クラブ奉仕委員長 小嶋映治

四大奉仕の第一部門である「クラブ奉仕」は、クラブの機能を充実させる為に、クラブ内で会員がとるべき行動にかかわるものです。

そして、個々のロータリアンが結集したものがクラブです。又、会員と親睦を図り、クラブの増強に努めるのが「クラブ奉仕」と認識しております。微力ではありますが、平手会長・大島幹事の下、一年間頑張りたいと思ひます。皆様よろしくお願ひいたします。

事務局は午前10時から午後4時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください。

●例会場/東京都江東区東陽6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5683)5683 ●例会日/毎週火曜日 12時30分~1時30分
●事務局/東京都江東区東陽6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5632)3777 FAX:03(5632)3737



就任挨拶

職業奉仕委員長 鯉淵信行

ロータリークラブの中核をなす職業奉仕とは、日々の仕事を通して世の中に貢献するために奉仕の心を育て向上させることです。奉仕とは、他人のためになにかすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行うことです。

ロータリーの目的は、職業を通して社会の色々なニーズを満たすこと、ということになります。それによって自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来ると考えられます。

ロータリアンは、日々の仕事を通して自らの道德的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。日常の職業活動を通して自分の会社の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、道德的能力を向上させることに努めています。

このような仕事に対する取り組み方を職業奉仕と呼んでいます。職業奉仕は、ロータリアンの自己の問題と考えられます。

社会人として生きてゆくには過去を学び未来を予測することが必要です。そのためには色々な想像力が必要となります。道德的能力の根本は、想像力ともいえます。

ロータリアンは、日々の職業奉仕を通して自身の、また、職場や地域社会の人達の想像力を高め社会の進歩と平和に貢献していくことです。この場合自己の行動の適切性を判断する規準が必要となると思います。その時の一般的な規準として有用なのがロータリーの4つのテストと考えられます。

次に自分の会社の監査法人について述べてみたいと思います。

最近、上場会社の不祥事が多くなってきたような印象を受けます。そのような不祥事が起こると会計士はちゃんと監査していたのか、などと不満の声が上がります。しかし会社が組織ぐるみで不正を隠蔽しようとしたら、そう簡単に見抜くことは困難なことになります。

会計士協会も危機感をいただき、監査の信頼回復に向けた取り組みをしています。会長から会員、監査法人に向け監査の品質管理向上のためリスクアプローチに基づく監査、職業的専門家としての猜疑心を常時持つこと、経営者による内部統制を無効化するリスク、監査チーム内の情報の共有等具体的に指導がきています。会計士協会も各監査法人に3年に1回レビューをし、監査調書を調べて監査の品質向上に努力しています。このように監査においても社会的な混乱が起こらないよう自分たちの襟を正し努力をし、職業奉仕をしているのかなと考えております。

国際奉仕委員長 板倉健司

今期、国際奉仕委員長を拝命いたしました板倉です。本来6月に行われる予定であったホノルルでの国際大会も中止となってしまうコロナ渦の情勢下において、今期の国際奉仕活動は親睦や交流という観点ではかなり難しいものになると予想されます。

ただし、貢献、支援という点ではまさにロータリアンとしての活動の見せ所なのではないかと考えられます。

幸い当クラブの先輩方の活動による諸外国との親交のパイプは台湾・パラオ・フィリピン・バングラディッシュ等各国にあり、いま求められている奉仕活動が何なのかを的確にとらえ、我々にできる支援・奉仕活動を立案・実行したいと考えております。

- ①当クラブ先輩方の持つ諸海外とのパイプ(他)からニーズを収集し
- ②タイムリーに早期(今期)実施可能な
- ③国際奉仕(支援)活動を協議し実行する。

青少年奉仕委員長 小野綾子

今年度 青少年奉仕委員長を仰せつかりました、小野です。

青少年奉仕委員長として、未来を担う少年少女が、将来「他人の事を思いやり、他人の為に役立とうとする気持ち」を持続して持ち続けられるように奉仕活動や社会貢献を通じて導くことに力を注いでまいりたいと思います。

また、毎年、恒例になっている「江東区内の野球・サッカー・わんぱく相撲等」への援助ですが、今年は新型コロナウイルス感染予防から開催は見送られることになってしまいましたが、前年までとは違うロータリーだからこそできる援助と青少年健全育成の在り方を考え、積極的に行動したいと考えております。

そして、今年度は、地区RYLA委員会の委員を仰せつかりました。

RYLA(ライラ)とはRotary Youth Leadership Awardsの略でロータリー青少年指導者養成プログラムです。

年齢14歳から18歳と19歳から30歳までの若い人のためのRI常設プログラムです。年齢により2つのグループとした目的は多様なニーズと成長過程に対応できるようにするためです。地区内の若い人々とロータリアンが参加する地区プロジェクトであり、若い人々の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としており、通常はライラ(RYLA)と略称で表現しています。

2580地区でのRYLA委員会も今年で3年目を迎え、新たに私ふくめ3名が新参加致しました。

2年連続、沖縄でセミナーが開催され、今年度は東京・秋川での開催です。当初2021年2月でしたが新型コロナウイルス感染予防から、5月か6月の開催で検討しております。青少年養成プログラムを通じて青少年委員会の活動を皆様にお伝えしてまいります。

社会奉仕委員長 大澤栄一

本年度の社会奉仕委員会としては、「この街を愛することからはじめよう」との会長ターゲットを踏まえ、地元江東区に根ざした奉仕活動を見つけ、実現していくと目指していきたいと思っております。

具体的には、大きく分けて以下の4点を中心に取り組んでいきたいと思っております。

1. 社会福祉フェスティバルの成功
昨年度は残念ながら、コロナの影響もあり、5月に開催予定であった社会福祉フェスティバルが延期となりました。しかし、今年度は、令和3年3月28日(日)に社会福祉フェスティバルを開催する予定です。特に、次年度は我がクラブの60周年に当たります。その記念行事として社会福祉フェスティバルを開催することになると思っておりますので、そこまでを視野に入れて取り組んでいきたいと思っております。また、今月(7月)中には、社会福祉フェスティバル協力団体(12団体)に我がクラブで作成したマスクを寄贈して参ります。「With You」という言葉どおり、共に進んでいきたいと思っております。
2. 社会福祉協議会との連携
「この街を愛することからはじめよう」というターゲットに沿って、地元での新たな奉仕活動を探すべく、社会福祉協議会と連携を図っていきたく思います。
3. JC等の地元団体と協働しての奉仕活動の模索
社会福祉フェスティバルでも、JCとの協力関係を築いてきましたが、今後もこうした関係を継続・発展させていきたいと思っております。
4. コロナ対策
コロナの影響は今後も大いにあり得ると思っております。状況を見ながら適切な奉仕活動をしていきたいと思っております。